

報道関係者各位

2015年2月10日  
株式会社リンクアンドモチベーション

## リンクアンドモチベーション 「株式会社スクー」への出資のお知らせ インキュベーション推進室

経営コンサルティングの株式会社リンクアンドモチベーション(以下 LM)は、株式会社スクー(代表取締役社長:森健志郎 本社:東京都渋谷区)の第三者割当増資を引き受け、2015年1月30日付で同社に出資いたしました。

株式会社スクーは、2011年設立で、インターネット生放送を活用したコミュニケーション型動画学習サービス「schoo(スクー) WEB-campus (<http://schoo.jp/>)」の運営を行っています。

ヒトと繋がりながらインターネットで動画学習できる「学校の新しいカタチ」を掲げており、既存の、録画を“見るだけ”のeラーニングとは違う、そこに『コミュニケーションが生まれる』学習を提供しています。年齢・住まい・職業等、異なる背景や価値観を持っている人達が、学びを軸にリアルタイムコミュニケーションを楽しみ、共に『終わらない学生生活』を満喫できることが特徴です。

2012年1月のサービス開始以降、過去1,500以上の講座をインターネット上で無料生放送にて提供してきました。平日夜にインターネット生放送で開講される授業には、最大4,000人の受講者が集まっています。現在会員数は13万人を超え、20歳代後半から30歳代前半のビジネスパーソンを中心に、幅広い層が利用しています。<sup>[1]</sup>

当社は、2000年に創業以来、採用支援・人材育成・風土変革等、組織人事に関するワンストップコンサルティングをクライアントに提供することで成長してまいりました。現在は法人向けビジネス部門と、個人向けコンシューマー部門(PCスクール「AVIVA」、資格スクール「DAIEI」の運営等)の2つのセグメントで事業を推進しています。

草創期から成長期にある中小・ベンチャー企業の組織人事課題には共通点が多く、また、組織人事課題がボトルネックとなり成長を阻害していることも少なくありません。当社のクライアントでも、好景気の中でさらに成長するために、組織人事強化が重要課題になっているクライアントが多く、当社に対してコンサルティングサービスだけでなく、直接的な支援を要望されるクライアントも増えてまいりました。

そのような背景からインキュベーション推進室を設置し、出資を通じて投資先企業の価値向上をはかるサービスを実施しております。

今回の出資では、株式会社スクーの掲げるオンラインだからこそできる「圧倒的に面白い学習体験」を追究し、「世の中から卒業をなくす」というビジョンの実現に向けた様々な支援を実施し、より一層の企業価値の向上に尽力いたします。

当社としては、「学び」の場を多く提供し、意味のある社会づくりに大きく貢献するために、今後事業連携を視野に入れて、進めてまいる予定です。[12]

■投資先企業の概要[13]

社名	株式会社スクー
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1-19-11 寿道玄坂ビル 7 階
設立	2011 年 10 月 3 日
代表者	代表取締役社長 森健志郎
従業員数	36 名(役員社員・アルバイト含む)
事業内容	コミュニケーション型動画学習サービス「schoo(スクー)WEB-campus」の運営
会員数	13 万人

お問い合わせ先

■投資案件に関するお問い合わせ先

株式会社リンクアンドモチベーション インキュベーション推進室  
 TEL:03-3538-8671 FAX:03-3538-8672 Email:pr@lmi.ne.jp

■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社リンクアンドモチベーション グループデザイン本部 広報・秘書ユニット  
 TEL:03-3538-9517 FAX:03-3538-8672 Email:pr@lmi.ne.jp

株式会社リンクアンドモチベーション <http://www.lmi.ne.jp/>

■代表取締役会長:小笹芳央 ■資本金:13 億 8,061 万円 ■証券コード:2170(東証一部)

■本社:東京都中央区銀座 3-7-3 銀座オーミビル ■Tel:03-3538-8671(代表) ■創業:2000 年 4 月

■事業内容:モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング

モチベーションマネジメント事業(人事・教育支援)、エントリーマネジメント事業(採用・動員支援)

■グループ会社:株式会社リンクグローバルソリューション、株式会社リンクイベントプロデュース、

株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズ、株式会社リンク・マーケティング、株式会社リンク・アイ、株式会社インタラック、

株式会社リンクアカデミー、株式会社モチベーションアカデミア、株式会社リンクスポーツエンターテインメント、株式会社リンクダイニング